

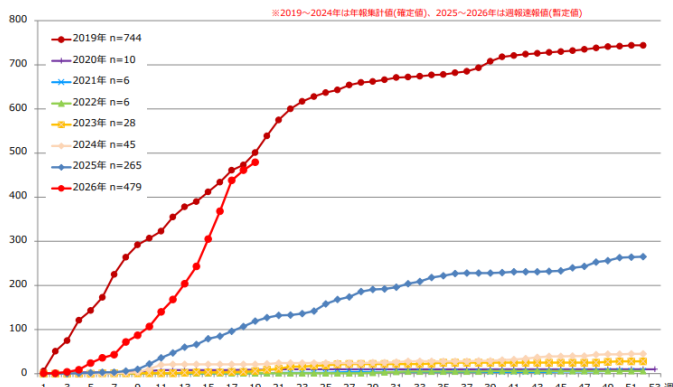
「気仙沼保健所 感染症だより」は、管内の感染症発生状況及び感染症予防に関する情報提供を行うお便りです。

感染症×Topics

麻しん（はしか）が流行中

今年はまだ宮城県内で麻しんの報告はありませんが、国内の累計報告数は479例(5月13日時点)となっています。

この国内の報告数は、直近10年で最も感染者数が多かった2019年の同時期(486例)に迫っており、宮城県内でも注意が必要です。



出典: 国立健康危機管理研究機構 感染症情報提供サイト(令和8年5月25日閲覧)

感染経路

麻しんは、麻しんウイルスによる急性ウイルス感染症です。(潜伏期間は10~12日)

感染力は現存するすべての感染症のなかで最強クラスで、インフルエンザの約10倍の感染力とされています。空気感染、飛沫感染、接触感染で感染します。空気感染をするので、同じ空間にいただけで感染することがあります。手洗いやマスクだけでは、麻しんを予防することはできません。

症状

感染すると約10~12日後に発熱や咳、鼻水、目の充血といった風邪のような症状が現れます。また、口の中に特徴的な白い斑点(コプリック斑)が現れます。2~3日熱が続いた後、39度以上の高熱と発しんが出現します。

予防と対策

発症・重症化しないために

最も有効な予防法は、ワクチンの接種です。ワクチンを接種することで、95%程度の人が麻しんウイルスに対する免疫を獲得することができ、2回の接種を受けることでより強い免疫をつけることができます。ワクチンの接種については、かかりつけの医師にご相談ください。

感染を広げないために

麻しんを疑う症状がある場合、まず医療機関に電話で連絡してから受診をしましょう。他の患者さんに感染を広げないよう、受診方法について指示を受けることが重要です。受診の際には、可能な限り公共交通機関の利用を避けましょう。



医療機関へのお願い

麻しんが疑われる患者を診察した場合、国の届出基準に基づき、直ちに保健所への連絡と届出をお願いします。届出基準・届出票は、以下の厚生労働省のホームページを参照してください。

<https://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekkaku-kansenshou11/01-05-14-03.html>

厚生労働省 感染症法に基づく医師及び獣医師の届出について

季節を問わず注意！感染性胃腸炎

感染性胃腸炎は、ウイルスや細菌などによって起こる病気で、嘔吐や下痢、腹痛などの症状がみられます。ノロウイルスによる感染性胃腸炎は冬に多い傾向がありますが、感染性胃腸炎自体は年間を通して発生しており、この時期は、生活環境の変化や人との接触機会の増加により、集団発生がみられることもあります。

感染対策の基本

アルコール消毒だけでは不十分です。

感染性胃腸炎の原因となるノロウイルスやロタウイルスは手洗いによって、ウイルスを物理的に洗い流すことが大切です。

また、感染者が触れた場所や、食器、リネン類は次亜塩素酸ナトリウムを使って拭き消毒することが効果的です。

次亜塩素酸ナトリウム消毒液の作り方については、以下の資料も参考にしてください。



<https://www.pref.miyagi.jp/documents/31898/378518.pdf>

次亜塩素酸ナトリウム消毒液の作り方(疾病・感染症対策課作成)

嘔吐物・排泄物の処理にも注意が必要です。

嘔吐物・排泄物には大量のウイルスが含まれます。乾燥する前にすみやかに処理し、感染を予防することが大切です。

処理の際は個人用防護具(マスク・ガウン・手袋等)を着用しましょう。

さらに詳しい手順については、以下の動画も参考にしてください。

<https://youtu.be/q1vUiA2dBqA?si=skMgG6ldBsm3CMLy>

嘔吐物処理の方法(塩釜保健所作成)

拭き消毒について

消毒液を噴霧するだけでは、消毒は不十分です。消毒液を浸したペーパータオル等を使って、物理的に一方向に拭きあげましょう。消毒のポイントは、消毒を行う物の表面に消毒液を十分接触させることです。

教えて！星さん☆

気仙沼市立病院 感染管理認定看護師である星さんが、感染症対策について、皆さんの「どうしたらいいの?」にお答えします!

Q 嘔吐物や排泄物の処理で、感染拡大を防ぐために外せないポイントは何ですか?

A 模擬吐物を使用して、数か所の施設で研修を行った時のこと…皆、びっくり!! 予想以上に飛び散っていました。



●嘔吐した人から2m以上も飛び散っており、周囲にあった椅子やテーブル、事務用品などが吐物で汚染されていました。椅子やテーブルの脚や裏面も汚染していました。拭き消毒を行う際は、汚染範囲に合わせ忘れずに行ってください。

吐物の塊部分だけ処理しがちですが、広範囲かつ死角箇所までしっかり行いましょう。

●処理時、個人防護具を着用していますが、「着てるから安心、大丈夫」は危険です。研修の際に、個人防護具を着用して処理をしましたが、しゃがんで処理をした時にガウンの裾が吐物と接触したため自身の衣服も汚染していた、他にも無意識に腕まくりをし自身の腕を汚染していた事例がありました。処理中や脱ぐ時は自身や周囲を汚染しないように行い、石鹸と流水での手洗いをしっかり行いましょう。排泄物処理の際も同様に個人防護具を着用し、処理後は手洗いをしっかり行いましょう。

認定看護師とは…?

ある特定の看護分野において、熟練した看護技術と知識を有する者として、日本看護協会の認定を受けた看護師。看護師として5年以上の実践経験を持ち、協会が定める600時間以上の認定看護師教育を修め、認定看護師認定審査に合格することで取得できる資格です。